

2024年度国際日本学研究科(博士後期課程)新規授業担当者 授業科目概要

(1) 言語・国際交流研究分野

演習科目

| 授業科目名 | 職格 教員氏名 | 授業等の内容 |
|---------|----------------|--|
| 研究論文指導Ⅰ | 専任准教授 岸 磨貴子 | 教育工学選書および学習科学ハンドブックなど、院生の研究領域を整理した文献をもとに議論し、国内外の研究の動向について確認する。その上で、院生の研究の問いが学術的にどのように位置づけられるのか、またどのような意義があるかについて議論し、整理する。先行研究を整理したものは、国内外の学会で8-9月の間に関連学会で発表し、フィードバックを得て、発展させていく。 |
| 研究論文指導Ⅱ | 専任准教授 岸 磨貴子 | 研究方法を中心に行う。研究の問いを明らかにするための研究方法を確定しその方法について関連書籍や論文を読み議論を進める。文献を読みながら、実際に収集したデータを分析し、分析結果を吟味していく。その結果を2-3月の国内外の学会にて発表し、フィードバックを得て発展させていく。また、分析を通して明らかになってきた新たな問いを研究するための研究計画をたて着手していく。 |
| 研究論文指導Ⅲ | 専任准教授 岸 磨貴子 | 研究論文指導ⅠとⅡで行ったデータの分析結果を、さらに先行研究と関連させて議論を進めていく。関連する文献を幅広くレビューし、院生の研究の学術的意義を明確にしていく。また分析の結果、足りない部分のデータをさらに収集し、分析を行う。そこでまとめた論文を8月以降の学会誌に投稿する。 |
| 研究論文指導Ⅳ | 専任准教授 岸 磨貴子 | 研究論文指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを通して明らかになった新たな問いについての研究に着手する。関連する文献を読み、問いを明らかにし、そのための方法論を確定し、データ収集と分析を行う。査読の結果を受けてその修正を行い、そのプロセスでさらに文献調査を行いながら学術的意義を高めていく。その結果を2月の学会誌で投稿し、査読プロセスを経て改善していく。 |
| 研究論文指導Ⅴ | 専任准教授 岸 磨貴子 | 博士論文全体の構成を確定し、博士論文完成に向けて取り組んでいく。研究の中心となる学術的問いを確定し、その背景の批判的考察を完成させる。同時に、これまで収集・分析してきた結果、目的、背景についての一貫性を見直し、不足分があれば追加で調査を行なっていく。副査からのフィードバックをもとに完成にむけて形を整えていく。 |
| 研究論文指導Ⅵ | 専任准教授 岸 磨貴子 | 研究論文指導Ⅴで形になりつつある博士論文を、関連学会や研究会で発表しフィードバックを得ながらさらに加筆修正をしていく。博士論文を完成させ、発表にむけた資料やスライドの作成にも取り組んでいく。 |